

## 8.20 広島八木災害報告（第 84 報）

2017.2.9

2月3日以降は、暖かい日が続いていました。災害地の梅の木に小さなつぼみがついてきました。土砂災害を免れたミカン・柚・金柑の木は黄色い実をたわわにつけていましたが、その実が少しずつ色褪せたり、皴が寄ってきました。

2月7日、安佐医師会が運営する可部夜間急患センターの当直をしました。今週に入って急に寒くなってきましたので、風邪が多くなり、その中で、昼間働いている人たちの夜間緊急受診が増えています。この夜の18人の成人の患者さんの8割がインフルエンザA型でした。

インフルエンザは、一度診断すると約1週間の休養が必要になります。大きな社会的損失です。しっかり予防できるようなワクチンの開発が望まれます。

2017.2.9.11 時

桑原医院 桑原正彦